

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	04 09 16	中期総合計画主要施策番号	3-05	担当課	部・課	健康福祉部 障害者支援課	
事業名	障害者ITサポートセンター運営事業				内 線	2406	
					E-mail	shogai-shien@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H15 ~	根拠法令等	障害者ITサポートセンター運営事業実施要綱				
実施方法	県が特定非営利活動法人SOHO未来塾へ委託して実施					国庫・県単	国庫補助事業

事業の概要等	目的 (必要性)	・高度情報化社会の進展に伴い、情報のバリアフリー化を推進し、障害者の社会参加の促進を図るため、障害者からのITに関する利用相談への対応、情報提供を行い、IT活用能力の向上を図る総合的なサービス拠点を設置する。				
	対 象	・障害者				
	目指すべき姿	・障害者の社会参加ができるように、IT技術(パソコン等の情報技術)の向上を図る。				
	事業内容	・IT利用に関する相談対応や情報提供 ・パソコンボランティアの養成及び障害者の申請に応じた派遣 ・社会参加に向けたIT講座の開催 (負担率:【国】1/2、【県】1/2)				

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 委託料(特定非営利活動法人SOHO未来塾):4,671千円
	最終予算額 (A)		千円	4,671	4,671	3,494	
	決 算 額 (B)		千円	4,671	4,671		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	2,336	2,336	1,748	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.20	0.20	0.20	
		概算人件費 (C)	千円	1,663	1,652	1,652	
概算事業費 (B(H24はA)+C)		千円	6,334	6,323	5,146		

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績
	IT関連相談件数(活)	件	210	278	250	・パソコン、障害者周辺機器、ソフト等の展示・体験学習 ・パソコントラブルの解決事例をITサポートセンターHPに掲載 ・就労に向けたIT講座(4回)
	パソコンボランティア派遣件数(活)	件	125	250	170	
	パソコンボランティア養成講座(活)	回	6	6	4	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> IT関連相談件数		千円 / 件	30	23	21

事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価		評価区分
	・パソコンボランティアの新規養成講座を県下2か所、スキルアップ講座を県下4か所で開催する。 ・社会参加に向けたIT講座を県下2か所で開催する。			・当初予定していたパソコンボランティア新規養成講座を中止し、就労に向けたICT講座を年4回開催し、計30名がホームページの作成方法などを習得した。 ・スキルアップ講座を年4回の予定から6回に変更し、ケーススタディやネットセキュリティなどを習得した。 以上により、概ね期待どおりであった。		b 期待どおり

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・IT関連の相談件数は、H21年度からH22年度は横ばいだったが、H22年度からH23年度は32%ほど増加した。 ・パソコンボランティアの派遣件数はH23年度は250件に達しているが、交通費のみ弁償して手当は支給していないこともあり、投入資源を縮減するのは難しい。 ・ボランティアの方を対象に、システムアップされるITソフトや障害者用の特殊なパソコンの操作等に関する講座を開催して、レベル維持を図る。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	・移動困難な障害者のITサポート支援は、不定期にシステムアップされるITソフトやコミュニケーション障害を持つ利用者への専門的な対応が必要で、ボランティアの質の向上がより重要となる。また、視覚障害者への対応についても、特殊なパソコン操作のため、関連機関と連携しながら専門的な対応をしていく必要がある				
	特記事項	・平成23年度信州型事業仕分け実施				